

2024（令和6）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会

ひなたの道 B型事業所

1. 理念・方針

（1）法人理念

① 障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

② 障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③ 援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④ 地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

① 多様な障害の方のニーズに基づき、個々の年齢・特性に応じたメニューを提供する。

→理学療法士に相談し、身体機能の低下が顕著な方にPTプログラムに基づく運動を提供した。個別に要望を聞き、年齢・障害特性に合わせた作業配置をし、本人の意欲を引き出した。

② 多機能型の特性を活かし、B型、生活介護共に、相互のプログラムの利用を促進する。

→利用者の状況に合わせ、音楽活動等で生活介護のメニューを利用した。B型の作業に生活介護の利用者に参加して頂いた。

③ 地域の方と円滑な関係を築く為、日常的な地域清掃や定期的な交流行事を開催する。

→地域清掃は日常的に取り組み、施設祭で地域に開放し、地域との交流や理解促進に繋がった。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

① 高齢の方を中心に、余暇等の就労場面以外の活動も日常的に選択できるようにする。

→余暇活動では自己選択した活動に参加し、経験や楽しみに繋がっていた。月に1回、全員参加でのレクリエーションの時間を設けた。

② 利用者個々の特性に応じたコミュニケーション手段を確立する。

→個別のコミュニケーションにより、ニーズ充足に結び付いた方もいたが、障害特性や年齢に合わせたより良い手段を継続して模索していく。

③ 個々の利用者への支援の適正化の為に、アセスメントの活用方法や記録等を見直す。

→アセスメント表の書式を見直し、日常的に把握した利用者情報を定期的に更新、追加した。

④ 新たな体験・やりがい、働き続ける事の意欲に繋がるよう新規作業の開拓を促進する。

→自主製品の製造は原材料費の高騰や携われる利用者が限定される為、今年度で終了した。その分、新規作業種の開拓を継続し、利用者の作業の選択の幅を増やせるようにする。

⑤ 利用者が安全かつ円滑に活動へ参加できるように、施設内の環境を整備する。

→日常的に施設内の整理整頓に努めた。作業の部材で車椅子の通路を塞がぬように留意した。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
(2) 利用定員 40名（現利用者数37名）
(3) 開所年月 平成28年10月1日
(4) 施設規模 敷地面積 982.38㎡
延床面積 996.24㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造（地上3階建て）
賃貸区分（土地）賃借 （建物）法人所有

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	6名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名（本部兼任）
支援員（非常勤職員）	7名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	1名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	16名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（0回／年）	0名
理学療法士（1回／2月）	0名
作業療法士（0回／年）	0名
合 計	1名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	A	未定	合計
愛の手帳	0名	12名	17名	7名	1名	0名	37名
身障手帳	5名	2名	0名	0名		0名	7名
精神保健手帳	0名						0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 47.2歳)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0名	3名	8名	7名	5名	7名	30名
女	0名	2名	1名	0名	0名	4名	7名
合計	0名	5名	9名	7名	5名	11名	37名

最低年齢 男…22歳 女…21歳 最高年齢 男…77歳 女…74歳

平均年齢 男…46.4歳 女…50.7歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	練馬区	新宿区	国立市	所沢市	国分寺市	合計
32名	1名	1名	1名	1名	1名	37名

(4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	2名	8名	7名	6名	0名	14名	37名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退所者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
月末数	38	38	38	39	39	39	39	38	37	37	37	37	456
延べ日数	836	874	836	897	858	858	897	836	851	851	740	851	10,185
延べ人数	762	796	760	796	738	761	809	749	772	761	675	773	9,152
出勤率(定員)	86.6	86.5	86.4	86.5	83.9	86.5	87.9	85.1	83.9	82.7	84.4	84.0	85.4
出勤率(現員)	91.1	91.1	90.9	88.7	86.0	88.7	90.2	89.6	90.7	89.4	91.2	90.8	89.9

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:00～	送迎、登園
9:00～ 9:10	体操 ウォーキング
9:10～11:30	生産活動
11:30～12:30	昼食 昼休み
12:30～15:10	生産活動 係活動 余暇活動
15:10～15:20	清掃 終礼
15:30～	退園 送迎

(2) 土曜日

8:00～	送迎、登園
9:00～11:00	生産活動 余暇活動
11:00～	昼食 退園 送迎

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ① 加齢による運動機能低下の防止・軽減を図る為、理学療法士・嘱託医等の専門家の指示に基づき、個々の状況に適したプログラムを提供する。
→理学療法士の相談を毎月行い、日常的に取り組んだ運動の評価もして頂いた。次年度以降も高齢者の怪我の予防に取り組んでいく。
- ② 健康診断、体重測定を定期的に行い、利用者の健康状況を把握し、家庭とも情報を共有し、医療機関への情報提供等早期対応を図る。
→家庭と健診結果の共有をすると共に、利用者本人へ体重の増減の伝達など意識付けを行った。
- ③ 自分の歯でいつまでも食べられるよう、必要に応じて、口腔衛生支援を行う。
→自身で歯磨きを行うのが難しい方に対しては直接介助を行った。
- ④ 高齢化対策についての職員の知識の向上、情報収集の場面を増設する。
→次年度も研修に参加する等知識の向上を図り、怪我の予防に繋がる情報を収集していく。
- ⑤ 日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、感染症等が蔓延しないように努める。
→施設内で朝に検温を行い、食後のテーブル拭き等を徹底し、感染症予防に努めた。

健康診断	白十字病院	4/17
婦人科検診	白十字病院	6/18
インフルエンザ予防接種	白十字病院	11/18
歯科健診	ひなたの道（折笠 Dr）	2/20

(2) 地域・家庭生活

- ① 生活を楽しむことを目的とし、身だしなみ、ファッションなどの情報を提供すると共に、消費活動など潤いのある生活に意識が向けられるようアドバイスや機会の提供を行う。
→利用者へ希望を取り、支援員が付き添い買い物をして、季節に合った服装をアドバイスした。
- ② 社会生活を円滑に営むためのスキルを獲得し、生活に活かせるよう場面提供を行う。
→グループ別外出やバスハイクで公共交通機関の使用法や食事マナーの習得機会を提供した。
- ③ 一人暮らしの高齢の利用者などには、個別に必要な福祉サービスに繋げ、日中活動場面以外のニーズにも対応する。→相談支援事業所とも連携し、保佐人を付け、困り事に対応した。

(3) 作業・就労活動

稼働作業種目

①事業所内活動

(単位：円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和5年度収入	令和6年度収入
受託事業	鈴木紙工 プロメディア 平成の里	ショッピングバッグ制作 ダイレクトメール封入	週5日	全員	1,289,374	1,122,594
清掃事業	白十字ホーム 多摩全生園	水やり ゴミ拾い他	月数回 年数回	3名 10名	263,554 (さやま園含む)	277,056 (全生園含む)
回収事業	三栄サービス	古紙等回収	週5日	10名	3,496,108	3,572,378
自主事業		芋けんぴ作成	適宜	3名	192,060	126,510
その他		施設祭バザー売上				6,165
小計					5,241,096	5,104,703

②パート・アルバイト

(単位：円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和5年度収入	令和6年度収入
パート	白十字ホーム	下膳	週5日	1名	309,461	0

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	アルバイト
4月	320,147	9,226	18,010	620	0
5月	376,260	10,843	22,300	620	0
6月	249,910	7,222	15,300	380	0
賞与	389,260	11,251	11,900	3,900	0
7月	237,870	6,855	13,370	440	0
8月	213,410	6,351	12,490	0	0
9月	173,570	5,016	9,830	0	0
10月	239,290	6,798	13,690	0	0
11月	271,880	7,973	15,790	0	0
12月	300,960	8,957	17,460	0	0
賞与	309,240	9,204	8,850	1,930	0
1月	292,900	8,849	16,970	400	0
2月	275,530	8,152	16,020	100	0
3月	478,400	14,196	28,740	110	0
合計	4,128,627	120,893	220,720	8,500	0
平均	344,052	10,074	18,393	708	0

※パート・アルバイトについては、本人へ直接支給。

(4) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

→毎週火曜日、選択メニューを提供した。月に1回、利用者からの意見を反映したリクエストメニューを提供した。

②栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂質	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	720kcal	28g	111.5g	18g	320mg	0.4mg	0.48mg	40mg
実績	700Kcal	27.7g	107.5g	17.7g	191mg	0.42mg	0.38mg	41mg

(5) 自治会活動

①利用者自身が主体となれるように、議題の提示方法や情報提供の仕方を工夫し、場面により全体、グループ別と分かれて、意見を引き出す。→月1回全体へ向けての周知とグループ単位での話し合いを実施し、行事等の立案に利用者の意見を反映させた。

②ホワイトボードへの掲示や意見箱の設置を通して、利用者のニーズを引き出す。

→ホワイトボードへ利用者の意見を集約し、分かり易く提示した。意見箱の設置は検討する。

(6) 行事实績

①年間行事

月	内容	場所	目的	参加数
---	----	----	----	-----

8月	夏祭り	ひなたの道	利用者(B型と生活介護)と職員の交流を図る。	85名
9月	ひなたフェス	ひなたの道	地域の方を招き、交流や施設の理解を深める。	169名
11月	大運動会	八坂小	前日の雨天で中止	0名
12月	クリスマス会	ひなたの道	利用者(B型と生活介護)と職員の交流を図る。	108名
1月	成人の祝い	中央公民館	成人等人生の節目を迎えられた方を全体で祝う。	30名
3月	バスハイク	静岡方面	年度末に一年の労を労い、非日常を味わう。	55名

②グループ別外出

月	場所	内容	参加数
5月	西武園遊園地	昭和レトロの体験と各種アトラクションの乗車。	26名
6月	REDTOKYO(東京タワー内)	仮想体験のゲームやアトラクションを楽しむ。	17名
7月	ピーターパン観劇	「ピーターパン」を観て、非日常の時間を持つ。	7名
9月	ラウンドワンスタジアム	様々なスポーツを体験し、楽しむ。	6名
11月	秩父「祭りの湯」	温泉に入り、心身の疲れを癒す。	15名
12月	スパジウムジャポン	天然温泉に入り、心身の疲れを癒す。	11名
2月	カラオケまねきねこ	カラオケボックスでカラオケを楽しむ。	3名

(7) 余暇活動

①継続的なプログラム

・半年に1度利用者から希望を聞き取りグループ分けし、月に1、2回実施する。

活動種目	実施日	人数	活動内容
プール	第3火	7名	プールで個々にあった運動をして、体力維持・精神安定を図る。
運動	第1・第3水	7名	ウォーキングや軽体操をし、体力・身体機能の維持を図る。
カラオケ	第2・第4水	13名	歌いたい曲を自分で選び歌うことでリフレッシュする。
ダンス	第1・第3月	9名	皆が好きそうな曲や出来そうなダンスをし、発表の場を設ける。
ポッチャ	第4金	8名	グループを作り、協力しながらゲームを楽しむ。
ボウリング	第1火	14名	ボウリングをして、体力維持・向上、精神安定を図る。
創作活動	第3金	1名	絵手紙の作成等工作を通して、精神安定を図る。

②月替わりのプログラム

・上記の7種目以外に、月に1回全員参加のレクリエーション的な活動を実施する。

→毎月第4月曜日の午後にレクリエーションの機会を持たた。

(8) 美化活動

① 利用者の転倒やケガにつながらないよう、日常的に安全な事業所の環境を提供する。

→環境に起因した施設内の転倒事故は見られなかったが、次年度も継続していく。

② 敷地内外の清掃、除草などを積極的に行い、衛生的な環境を提供する。

→施設近辺の地域清掃の機会を定期的に設け、施設内や駐車場の除草も取り組んだ。

7. 防災訓練

(1) 災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行い、年2回全館合同の防災訓練を実施する。→毎月生活介護と合同の避難訓練を第4火曜日に実施した。また、1次避難所である東村山第七中学校まで実際に利用者を伴い歩いて避難の練習をした。

- (2) 大規模災害時の福祉避難所として、市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。
→次年度以降も福祉避難所としての機能を果たせるよう関係機関と連携していく。

8. 地域との交流

- (1) 挨拶、清掃活動等積極的に行い、日常的な関係を充実させる。
→定期的に地域清掃を行い、日常的に良好な関係を築けた。
- (2) 施設祭、ボランティアの受け入れ、地域イベントへの参加、近隣学校との交流等啓発活動を行う。→施設祭、廻田町自治会清掃で地域の方と交流が持て、啓発できた。

9. 実習生の受け入れ

- (1) 特別支援学校や中途の方の実習を受け入れ、体験の場とし、利用者獲得の機会とする。
→特別支援学校から2名の卒業生が入所に繋がった。
- (2) 大学、専門学校などより実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うと共に、人材確保の機会とする。→福祉職員の養成の一端は担えたが、人材確保には至らなかった。

対象	期間	人数
特別支援学校3年生	5日間	3名
特別支援学校2年生	2～3日間	2名
社会福祉士実習	8～10日間	2名
介護等体験	5日間	16名

10. 保護者会との連携

- (1) 支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。
→連絡ノートの活用やお迎えに来る保護者、保護者会の際に情報交換を行った。
- (2) 事業所の活動への理解を深めるため、月1回の保護者会を行う。
→行事や面談期間以外は実施し、毎回報告書を家庭にも配布した。
- (3) 情報誌を発行し、活動状況を発信する。→行事後を中心に施設便りを発行した。
- (4) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。→施設祭、バスハイクで交流を持てた。

11. 職員研修

- (1) 知識、情報収集の為、研修、見学、交流等を行う。
- (2) 積極的に自己啓発し、支援に活かす。
→以下の研修を受講し、自己啓発や支援に活かした。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
令和6年度社会福祉法人会計入門研修	6/19～8/7	東京都福祉人材センター研修室	ひなたの道 (Web研修)	徳田文雄
新任職員の定着・育成入門研修	6/19～8/7	東京都福祉人材センター研修室	ひなたの道 (Web研修)	松井天平
令和6年度接遇・マナー研修	6/24, 27	東京都福祉人材センター研修室	ひなたの道 (Web研修)	守久裕美
社会福祉法人の経営力強化	7/3	福祉経営研究機構	ルミネゼロスタジオ	徳田文雄

令和 6 年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	7/16~8/12 8/20	東京都福祉保健財団	ひなたの道 (Web 研修)	小林祐貴
令和 6 年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	7/16~8/12 8/22	東京都福祉保健財団	ひなたの道 (Web 研修)	江川美樹
令和 6 年度東京都サービス管理責任者基礎研修	7/24~8/1 9/17, 18	東京都サービス管理責任者等研修事務局	ひなたの道 (Web 研修) 及び戸山サンライズ	江川美樹
令和 6 年度全国知的障害関係施設長等会議	8/5~19	日本知的障害者福祉協会	ひなたの道 (Web 研修)	徳田文雄
令和 6 年度財務マネジメント初級研修	8/15~10/10	東京都福祉人材センター研修室	ひなたの道 (Web 研修)	徳田文雄
雇用環境整備資格(第 3 種)講習会	9/1~30	日本雇用環境整備機構	ひなたの道 (Web 研修)	徳田文雄
令和 6 年度公正採用選考人権啓発推進員研修会	11/22	ハローワーク立川事業所第二部門	立川地方合同庁舎 3 階共用会議室	徳田文雄
福祉職のためのメンタルヘルスケア	12/5	東京都福祉人材センター研修室	ひなたの道 (Web 研修)	松井天平
令和 6 年度東京都サービス管理責任者実践研修	12/12~16 1/14, 15	東京都サービス管理責任者等研修事務局	ひなたの道 (Web 研修) 及びルミエール府中	小林祐貴
令和 6 年度東京都サービス管理責任者実践研修	12/12~16 2/4, 5	東京都サービス管理責任者等研修事務局	ひなたの道 (Web 研修) 及び戸山サンライズ	加藤譲太
対人援助職のためのアンガーマネジメント	12/17	東村山市基幹相談支援センター「るーと」	東村山市基幹相談支援センター「るーと」	守久裕美
令和 6 年度社会福祉従事者人権研修Ⅱ	1/27	東京都福祉局生活福祉課	ひなたの道 (Web 研修)	守久裕美
令和 6 年度都通研第 5 回研修会「支援を楽しもう」	1/29	東京都障害者通所活動施設職員研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター	松井天平
令和 6 年度社会福祉従事者人権研修Ⅱ	1/31	東京都福祉局生活福祉課	ひなたの道 (Web 研修)	前森直美

12. 会議

職員会議	月 1 回第 1 火曜日に実施
ひなたの道合同職員会議	月 1 回第 4 火曜日に実施
評価会議	年 2 回実施 (10 月と 3 月)
給食会議	月 1 回第 3 水曜日に実施
ケース会議	月 1 ケースで第 3 火曜日に実施
研修報告会	研修終了後実施

13. BCP (事業継続計画) 対策

(1) 防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。→BCP 委員会を定期的に開催し、法人全体の訓練として事業継続不可を想定して、2次避難所まで避難の練習をした。

(2) 感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。→感染症委員会を定期的に開催し、感染症発生時にも円滑な事業継続ができるよう体制を話し合った。

14. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。
- ②担当窓口及び第三者委員を提示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。
→苦情解決については、担当職員を設け、また第三者委員を提示し対応に当たった。

(2) 個人情報保護

個人情報保護規程に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に行う。

→個人情報保護については、保護者へアンケートを実施し、取り扱いに留意した。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

- ①虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。
- ②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。
- ③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。
→虐待防止委員会を定期的に開催し、虐待に繋がらないように支援に当たった。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたる。

→セクシャルハラスメントについては、男女各1名の担当者を設け対応に当たった。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-394-3731
担当者	松井 天平	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-394-3731
担当者 (男性)	小林 祐貴	同上
担当者 (女性)	前森 直美	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-394-3731
担当者	加藤 譲太	同上